

「戦争やめろ」の「平和」をスローガンに
十月革命のもつ国際的意義を学び革命生誕の地へ

元参議院議員、『レーニンの再検証・変革者としての真実』の著者

聴濤 弘 氏が同行・解説！
(キクナミ ヒロシ)

ДА ЗДРАВСТВУЕТЬ
СВОБОДА!



ロシア革命とレーニンの足跡をたどる旅

特別許可が必要な訪問場所が多数！
一般の旅では体験できない充実の内容

● 旅のおさそい ●
ペテルブルグはとても美しい中世の街です。モスクワは古くからのスラブの公国で一味違った街です。
ロシア十月革命は少数の武装集団が夜陰に乗じて起したクーデターではありません。当時人口200万のペテルブルグで30万、50万の人々が何回も何回もデモをおこした結果です。レーニンが1917年にこの革命を指導し1924年にモスクワ郊外で死去するまでの足跡を、ソ連崩壊後にでた新資料を含めながらご案内します。
途中ロシアの優れた芸術バレエに接する機会もあります。ロシア十月革命の意義はスターリンの誤り・ソ連崩壊によっても消えるものではありません。
聴濤 弘



旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

ご旅行条件 (要約)

● 募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラスツアーズ(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」)を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受付けます。条件は下記他、別途旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表=確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

● 旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2017年6月1日を基準としています。また、この旅行代金は2017年6月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2017年6月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

● 旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前(ピーク時は33日前)迄にお知らせします。

● 取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます(お一人様)。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降~31日目【ピーク時】4/27~5/6,7/20~8/31,12/20~1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証(ビザ)取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

● 旅行代金に含まれるもの(一部例示)
・ 航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
・ 宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
・ 食事代：旅程に表記のもの
・ 空港、駅~ホテル間の送迎車料金
・ 添乗員同行の経費(同行と明示した場合)
・ 鉄道運賃(旅程に明示したもの)
・ 旅程に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ

● 旅行代金に含まれないもの(一部例示)
・ 旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
・ 渡航手続費用：旅券印紙代(新規に申請される場合)
・ 渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証(ビザ)取得実費・手数料
・ 超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

● 個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
● 一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
● 空港施設使用料、航空保険料および保安料
● 訪問国入国税、燃油特別付加運賃
● 日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
● 任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

● その他(1)旅行代金はお一人分を表示しています。
(2)当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

● 当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社で手続きいただけます。

● 時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時
						4時

問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル
総合旅行業取扱管理者：榊原晋治

“いい旅”育てて55年

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課(滝澤・榊原・徳植)

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

● Eメール: tokyo@euras.co.jp
● URL: http://www.euras.co.jp

● 営業日: 平日(月~金曜日) 9:30~17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです
※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

お申込み方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行保険申込書等をお送りします。
※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き (下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了)

- ①正式申込書ご記入の上、旅行社へお送りください。
 - ②申込金(旅行費用内金) 50,000円を下記口座へお振込みください。
- ▶ 口座名義: (株)ユーラストラベル
● ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002 (〇-九店)
● みずほ銀行 神谷町支店(普) 口座番号: 1370507
● りそな銀行 麻布支店(普) 口座番号: 1782149
※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

参加予約票 ロシア革命100周年 聴濤 弘氏と行くロシア革命とレーニンの足跡をたどる旅 (ユーラスツアーズ宛)

①	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯
			メール
②	氏名	フリガナ:	電話
			FAX
	住所		携帯
			メール

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、当社より申込みに必要な諸案内を記載いただいたご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

「戦争やめろ!」「平和」をスローガンに、侵略戦争をするロマノフ王朝を打ち倒し、8時間労働制や社会保障制度等の導入を成した革命の地へ

旅行料金・諸条件	
旅行期間	2017年10月5日(木)～10月13日(金)9日間
旅行料金	335,000円 (※2名1室利用)
実施人数	30名様(最低実施人数15名様)
申込締切	9月1日(金) ※定員になり次第、締切ります
別途費用	燃油サーチャージ(12,500円) 諸税(7,940円)
	5,400円(ロシア・ビザ取得代行手数料)
1人部屋	59,000円 ※1人部屋利用(相部屋の方がいない場合も追加費用)

○添乗員同行(1名) ○利用航空会社:エアフロート・ロシア航空、大韓航空
○利用予定ホテル:サンクト・ペテルブルク(プリバルチスカヤ、ネフスキー、モスクワ)、モスクワ(レースナヤ、ベストウエスタン・ベガ)

日次	スケジュール [食事(朝・昼・夕)] / 宿泊地
1	10/5 成田《午前 09:00～13:30》→空路ロシアの首都モスクワへ着後、乗継手続き→革命発祥の地 St.ペテルブルクへ《夕刻》着後、専用車で宿泊ホテルへ St.ペテルブルク
2	10/6 《終日》ロシア革命ゆかり地見学①(St.ペテルブルク市内) = ○工場街のヴィボルグ地区を通りレーニンが帰国して演説した◎フィンランド駅、ニコライ2世の恋人の屋敷でボリシェビキ中央委員会が使った●クシェシンスカヤ邸、●ペトロパブロフスク要塞、四月テゼを提唱した●タヴリーダ宮殿 《夕刻》 芸術の殿堂ミハイロフスキー劇場でバレエ鑑賞 St.ペテルブルク
3	10/7 《終日》St.ペテルブルグ市内見学 = ●エカテリーナ宮殿、宮殿見学後 7月の反乱からレーニンが逃れた場所、郊外のラズリフ(ペテルブルグより45km)の見学 = ◎ラズリフ湖の対岸の小屋、再び St.ペテルブルグへ St.ペテルブルグ
4	10/8 《終日》ロシア革命ゆかり地見学②(St.ペテルブルク市内) = ボリシェビキの秘密会議のあった◎スモーリヌイ女学院、臨時政府のあった●冬宮(エルミタージュ美術館)(※美術館も見学) St.ペテルブルグ
5	10/9 《午前》St.ペテルブルグ発→空路、首都モスクワへ 《午後》ロシア革命ゆかり地見学③(モスクワ市内) = ◎赤の広場、政府が移った●クレムリン(※クレムリンは城内に入場)レーニン夫妻の仮住まい○ホテル・ナツィオナーリ モスクワ
6	10/10 《午前》ロシア革命ゆかり地見学④(モスクワ郊外) = レーニンが休養した モスクワ郊外の◎ゴルキ村の見学 = ◎旧モロゾフ夫人邸、レーニンが休養しなくなった●レーニン邸宅博物館 《夕刻》 芸術の殿堂ボリショイ劇場でバレエ鑑賞 モスクワ
7	10/11 《午前》ロシア革命ゆかり地見学⑤(モスクワ市内) = レーニンが銃撃された◎ミヘリソン工場跡と暗殺者が潜んだ◎広場 モスクワ
8	10/12 《午前》ロシア革命ゆかり地見学⑥(モスクワ市内) = ◎レーニン廟(※レーニン廟の入場可否は当日決定)、レーニンの遺体が運ばれた◎旧労働組合会館、時間があれば市内散策やショッピングなど→空港《夕刻 18:30～20:40》モスクワ発→空路、帰国へ 機中
9	10/13 《午前～夕刻 10:35～19:40》→成田着 ※エアフロート利用の場合: 10:35～11:40、大韓航空利用の場合 19:40～21:40

★ドレス・コード有: 旧スモーリヌイ女学院(現 St.ペテルブルグ市長が執務する場所)とタヴリーダ宮殿(独立国家共同体会議や国際会議場)では、ラフな服装・運動靴では入館禁止
注: 印=食事付き、 印=自由食、 印=機内食、OP=オプション、ツアー、●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、→=航空機、 =専用車、 =鉄道(2等車指定席)

※ロシアでは現地事情・交通渋滞等により、見学順序が変更することがございます。予めご承知おきください。

● **聴濤 弘氏** (キクナミ ヒロシ) プロフィール
1935年東京都生まれ
京都大学経済学部中退、1960～64年ソ連留学
日本共産党中央委員 国際部長、政策委員長を歴任、元参議院議員

●主な著書
『ソ連はどういう社会だったのか』(1997.08)
『カールマルクスの弁明:社会主義の新しい可能性のために』(2009.05)
『レーニンの再検証・変革者としての真実』(2010.08)
『マルクス主義と福祉国家』(2012.04)

●主な訳書
レーニン著『国家と革命・国家について』(1985.06)
レーニン著『帝国主義論』(1999.12)



● **フィンランド駅** 2日目/サンクト・ペテルブルク
レーニン夫妻らが、封印列車でスイスからドイツ、スウェーデンを経由してからフィンランドに入り、ペトログラードのフィンランド駅へ。大勢の群衆に向かって「社会主義革命ばんざい」と叫

● **クシェシンスカヤ邸** 2日目/サンクト・ペテルブルク
かつてニコライ2世の恋人のバレリーナの屋敷。「二月革命」後、ボリシェビキ中央委員会、ペトログラード委員会が入っていた。(現在はロシア政治史博物館)

● **タヴリーダ宮殿** 2日目/サンクト・ペテルブルク
「二月革命」前は国会(ドゥーマ)が入っていた。「二月革命」後、ソビエトも入り、ソビエトに権力を移す時期だとレーニンは「四月テゼ」を説得すべくタヴリーダ宮殿の集会へ。

● **スモーリヌイ女学院** 4日目/サンクト・ペテルブルク
ペトログラード・ソビエト執行員会がタヴリーダ宮殿から引越した閉鎖された女学院。ボリシェビキの中央委員会とペトログラード委員会も、クシェシンスカヤ邸から移ってきた。

● **冬宮(エルミタージュ)** 4日目/サンクト・ペテルブルク
帝政時代の王宮。「十月革命」がおきた時、臨時政府が会議していた部屋がある。その時点で臨時政府が壊滅する。現在は世界3第美術館の1つエルミタージュ美術館として有名。



● **ホテル・ナツィオナーリ** 5日目/モスクワ
ペトログラードからモスクワに首都が移り、レーニン夫妻が一時住んだ部屋がある。

● **ミヘリソン工場跡** 5日目/モスクワ
モスクワの工場地区での演説会、レーニンが旧ミヘリソン工場演説を終えて帰ろうとした時に銃撃を受けた場所

● **モスクワ郊外のゴルキ村** 6日目/モスクワ
銃撃後に健康を悪化させたレーニンに人民委員会議(政府)の決定で休養を取らせる。最初の発作が起って休養した場所。3度目の発作で半身不随となりクループスカヤと移り住む。

● **旧労働組合会館** 6日目/モスクワ
1924.1/21、レーニンの容体が急変し18時50分に死去(53歳)。レーニンの遺体は23日に葬送列車でモスクワに、パヴェレツキ一駅から旧労働組合会館へ運ばれて国葬へ。



ウラジーミル・イリイチ・レーニン 1870.4.22-1924.1.21
帝政ロシア内の革命勢力をまとめ上げ、世界初の社会主義革命において主導的な役割を果たす。史上初の社会主義国 家であるソビエト連邦およびソ連共産党の初代指導者。

ロシア革命の年表	
1904.1/26	日露戦争開始
1905.1/09	「血の日曜日」事件
1905.5	イワンボ・ボズネセンスクで最初のソビエト結成
1905.6	戦艦ポチョムキン号の反乱
1905.8/23	ポーツマス条約調印
1905.10/7	全国政治ゼネストはじまる
1905.10/13	ペテルブルグ・ソビエト結成
1905.10/17	政府「十月宣言」を公布
1905.12/9	モスクワで武装蜂起開始
1906.4/23	政府、国家基本法(憲法)公布
1907.6/3	ストルイピン首相、国会を解散
1912.1/05	ロシア社会民主労働党、ボリシェビキ党を結成
1912.2	レナ鉱山労働者虐殺事件(抗議スト全国化)
1914.7/19	ドイツ・ロシアに宣戦～第一次大戦に突入
1914.8	ロシア軍、タンネンベルクの戦いで大敗
1915.7	ロシア軍、ワルシャワ放棄
1916.12/16	ラスプーチン暗殺
1917.2/23	首都ペトログラードでストライキ開始 「二月革命始まる」
1917.2/27	ペトログラード・ソビエト結成。国会臨時委員会成立
1917.3/02	臨時政府成立、皇帝(ツァーリ)退位
1917.4/03	レーニン、スイスより封印列車で帰国
1917.4/04	レーニン「四月テゼ」発表
1917.4/20	首都でミュニコフ外相の好戦的覚書に抗議デモ
1917.5/05	第一次連立政府成立
1917.6/18	ロシア軍、夏期攻勢開始
1917.7/03-4	首都でソビエト権力を要求するデモ(7月闘争)
1917.7/24	ケレンスキーを首相とする第二次連立政府成立
1917.8/27	コルネーロフ、自己の部隊に首都進撃命令～逮捕
1917.9/25	第三次連立政府成立、ペトログラード・ソビエト新幹部会を選出し議長にトロツキーを選出
1917.10/10	ボリシェビキ中央委員会、武装蜂起を決定 ※「十月革命」はじまる
1917.10/16	首都のソビエトに軍事革命委員会設立
1917.10/24	ソビエト臨時政府との武力衝突はじまる
1917.10/25	首都でソビエト政権樹立宣言、臨時政府崩壊 第二回全ロシア・ソビエト大会「平和についての布告」、「土地についての布告」を採択～レーニンを議長とするボリシェビキ単独の臨時労働政府樹立
1917.11/03	モスクワでソビエト政権樹立宣言
1918.1/05	憲法制定会議開会～翌日解散
1918.1/10	第三回全ロシア・ソビエト大会開会(～1/18)
1918.1/13	全ロシア農民ソビエトが合同し「勤労被搾取人民の権利の宣言」を採択
1918.3/03	(以降西暦) プレスト・リトフスク条約調印
1918.3/06	第7回党大会でロシア共産党(ソビエト)と改称
1918.7/04	第5回全ロシア・ソビエト大会で「最初の憲法」ソビエト憲法を採択
1918.8/30	レーニン暗殺未遂事件(銃撃をうける)
1918.11/11	第一次世界大戦終結
1919.3/02	モスクワでコミンテルン創立大会
1919.3/18	第8回共産党大会、新綱領を採択
1921.3/08	第10回共産党大会、新経済政策へ移行決定
1921～1922	レーニン体調を悪化させ職務を離れる
1923.1/04	「レーニンの遺書」大会への手紙でスターリンを書記長職から解任提案を出す
1924.1/21	レーニン死去

オプション・ツアーのご案内 《芸術の伝統でロシア・バレエを鑑賞》			
●演目:	ドン・キホーテ 10/6	●演目:	ラ・バヤアール 10/10
●劇場:	ミハイロフスキー劇場 19:00～	●劇場:	ボリショイ劇場 19:00～
●料金:	10,000～17,000円	●料金:	10,000～17,000円

※申込時の座席料金によって料金が異なります / 送迎・ガイド・チケット代込み